

★ 夜間学校 釜ヶ崎 (復称) 木50

今夜7時より「専断の家」「階にそ

9.24 ライオン「釜ヶ崎の歴史」

大教論文を批判的に読んで読もう！

- 8月末の夜間学校では、「あいらん人生道跡調査記」(大阪市大教授大教寿一編)の抜粋を皆で読みながら、この本の持つ問題を批判しました。
- その続きとして、今週と次週の2回にわたり、この本の最後にある大教氏自身の論文「あいらん地区の現状と向題」を批判的に読み、話し合いましたと思います。
- 今夜の夜間学校は「釜ヶ崎の歴史」

ということで、特にこの論文の前半部分にある釜ヶ崎の形成と発展の跡をたどりながら、我々の労働者の現在と未来についても考えることが出来ればと思っております。

□ 釜ヶ崎の歴史は日本資本主義の発展の歴史そのものです。このことは、産業構造の変化に伴って、釜ヶ崎の人口も変り、仕事内容も変り、仕事の数も変化してきた事実をみても明らか

復称 釜ヶ崎夜間学校とは...

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰れもが「あいらん地区」だから、いんの問題であるという野上君の問題もまたある仕事や病気の向題等を皆の力で解決していく

為に、先生と生徒の関係でなく、皆が生徒で先生でもあつたという対等な関係の中で、互いに知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

10月の予定

- 水1週 1日(木) 「釜ヶ崎の歴史」
今夜にやった続きをします。
- 水2週 8日(木) 「保身丸分について」
- 水3週 15日(木) 「運営委員会」
自由な話し合いと来月の予定。
- 水4週 22日(木) 「やさしい経済の話」
- 水5週 29日(木) 「レクレーション」
うたって楽しく遊びましょう。

です。したがって、日本全体の経済変動と深く結びあわせながら釜ヶ崎を見つめなおすことが、我々の未来あるいは解放を考える上で大きな柱となるのではないでしようか。

□ 多くの仲間が、自由に長樂に参加されるよう、ここに呼びかけます。

只今原稿募集中

夜間学校では、文集作りに向けて原稿を求めています。形式や字数は一切問いません。思っていることを文章にして下さい。原稿は当方まで！

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

第49回報告 テーマ「人夫出しー最近の現場と飯場の状況」

あきらめず、問題を共有しよう

以下は、話し合いの一部分です。

「誰もが人夫出しに不満をもってはいるが、しようのないこととあきらめてしまっている人が多い。あきらめず、少しでも良くなるようにみんな考えて、人夫出しの問題を共有していきたいと思う。」

「夜間学校の号外へ人夫出しの情報をみんなを集めよう」の反響はものすごくありましたよ。それぞれ不満はもっているんだが、それで終わってしまっている所がある。なぜか。」

「なかなかめんどうやし、人間は自分のことと動くより、他人のことと動く方が動きやすいんじゃないか。」

「センターで一番ケタオキは、大正のあつみとか、寺田町の方とか言っていた。」

「ワシが働いていた築港の飯場では、今年の4月の賃金が7千円だったのに、5月半ばでは、6千5百円、7月前では、6千円になっていた。」

「仕事の内容を求人広告に明記するようにならないかなあ。内容を聞いたら、"もういい"と断られるしな。」

「聞いても当^まに^きならないことがある。」

「俺はこの前、京都の飯場に行ってきた。朝、食堂に一日の現場が張り出される。誰も5時に終る現場に行きたがらないし、5時に終る現場が回ってきた人は次から次へとやめていく。」

「新座はえらい所に廻されるな。」

「仕事している同志の指導権争いみたいなのがあるように思うし、親父との関係をつくることにみんなの気がいっている所がある。そういう所に問題があるのではないか。」

「それに問題があっても、親方と言ひ争うより、いい所搜した方がいい、ということになる。」

「労働者が今まで抑圧されてきた中で、社会構造を打破する力がなくなっている。今は、現代人の中に、じょうがないものとして科学が根づいている。労働者が連帯していくためには、今まで信仰してきたものを破壊していくことが必要だという気がする。体制側のもっている信仰と同じものをもっていたら、言いたいことも言えなくなる。」

「一人一人の中に一つの流れがある。最終的には大きくなることは確かや。」

「ともかく、偉そうにいう奴を、対等の関係にしていかねあかん。Aの飯場に行く人はBの飯場に文句を言う。Bに行く人はAに文句を言ったらどうか。」

「今は非力だが、一人一人が、取り囲まれていく状況を見つめることから始めよう。」

「今は非力だが、一人一人が、取り囲まれていく状況を見つめることから始めよう。」